

第3回「ENEOS 車いす体験研修」の実施について ～当社社員が車いすでバリアやユニバーサルデザインを体感～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、6月9日(土)、人権啓発推進の一環として当社グループ社員を対象に「ENEOS 車いす体験研修」を実施しますのでお知らせいたします。

「車いす体験研修」は、障害のある方に対する理解や、街のバリア・ユニバーサルデザインなどへの認識を深めるため、当社ビルとその周辺(東京都港区西新橋)にて実施するもので、昨年秋に引き続き第3回目として開催するものです。

当日は、約15名の当社グループ社員が参加して、車いす体験アドバイザーのアドバイスを受けながら、車いすの使用方法や介助の仕方を学んだ後、当社ビルの出入口・障害者用トイレ・障害者用エレベーター・飲料自動販売機を車いすで利用する予定です。

また、屋外にも出て、地下鉄エレベーター・銀行ATM・コンビニエンスストアなどで、普段では気がつかない、車いす利用者や介助者にとってのバリアやユニバーサルデザインを「体感」することを意図しています。

歩道に傾斜があることによって車いすが運転しにくいことや、ビル入り口の小さな段差が大きなバリアであることに気がつきにくいものです。実際に車いすを運転することによって街にある様々なバリアを「体感」し、障害のある方への理解とともに、介助の申し出など自分自身が日常生活で果たせる役割にも多くの発見を期待する研修となっています。

当社グループはCSR活動の重点分野として「人間尊重」を掲げ、「社員ひとりひとりが個性と能力を発揮し、いきいきと働き活躍できる人間尊重の企業文化を醸成する」ことを目指しています。その推進体制として「人間尊重いきいき委員会」を設け、障害者採用などに積極的に取り組むとともに、今後とも様々な観点から人権啓発の推進に取り組んでまいります。

<昨年秋に実施した「車いす体験研修」の様子>



小さな段差にも介助が必要！



コンビニエンスストアの高い場所には届かない！